

2023年6月20日

学校法人三幸学園
神戸元町医療秘書専門学校
校長 門脇 千里 殿

学校関係者評価委員会
委員長 佐野 匠

学校関係者評価委員会実施報告

2022年度学校関係者評価について、下記のとおり評価結果を報告します。

記

1 学校関係者評価委員

- ① 森 崇 (医療法人 尚和会 宝塚第一病院 人材開発部課長)
- ② 国場 仁菜 (第4期卒業生)
- ③ 佐野 匠 (飛鳥未来きずな高等学校 神戸キャンパス 主任)

2 学校関係者評価委員会の開催状況

2023年6月20日 (会場 神戸元町医療秘書専門学校 504教室)

3 学校関係者委員会報告

以下「自己評価・学校関係者評価報告書」に学校関係者評価委員会コメントとして記載

以上

2022年度 学校法人 三幸学園 神戸元町医療秘書専門学校 自己評価及び学校関係者評価報告書

自己評価報告責任者：副校長 松本 悠

学校関係者評価報告責任者：学校関係者評価委員会委員長 佐野 匠

1. 学校の教育目標

学園のビジョン「人を活かし、日本をそして世界を明るく元気にする」、ミッション「人を活かし、困難を希望に変える」のもと、医療分野の学校として「医療・福祉・保育現場を通じて、日本を明るく元気にする」というビジョンを掲げている。

また「技能と心の調和」を教育理念とし「素直な心、感謝の気持ち、高い意欲を持ち続け、自ら考え、自ら行動することで、社会に貢献する人材」、医療分野として「相手のこうしてほしいを理解し、考え続ける人材」を育成する人物像とし、専門学校として社会・業界に求められる人材の育成を進めている。

2. 前年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

① 前年度重点施策振り返り

学校スローガン：共育

教育目標：新入生－凡事徹底 進級学年－社会人基礎力の醸成

卒業時－生きる力を身に付けた人材の育成

退学率目標：4%以内、結果：9.7%

募集目標：90名、結果：66名

3.評価項目の達成及び取組状況

(1)教育理念・目標

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学校の理念・目的・育成人材像は定められているか（専門分野の特性が明確になっているか）	4
社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	3
学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが生徒・保護者等に周知されているか	4
各学科の教育目標、育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	3

① 課題

学校としての教育目標や学科ごとの目指す人材育成像の設定はできているが、具体的な評価と体現に繋がられていない。

② 今後の改善方策

定期的な評価実施と評価から抽出される課題を計画的に取り組み、目指す人材育成像に一層近づけられる教育を行っていく。

③ 特記事項

なし

④ 学校関係者評価委員会コメント

（森 委員）

現場のニーズとしては相手のこうして欲しいを考え動ける人材＝主体的に動けるということなので非常によい目標である。現状、現場で能動的に動く職員が少ない。もう少し、受け身な姿勢が改善されると現場としては有難い。是非、主体性を発揮してもらいたい。

（国場 委員）

後輩を見ている中の新人の印象について、自分で考えて動くことが出来ない。電話にサッとでるなどが出来ない子も多い。他部署を見ていると、状況を考えずに依頼する後輩も多い。臨機応変さとTPOは必要。在学中に行事のリーダーなど決まった子がすることが多かったが、自主的な生徒だけでなくもっと教員からきっかけづくりや背中を押してもらえると様々な生徒も代表にもチャレンジできたのではないかと思う。行事で卒割の経験があれば現場で活かせたと感じる。

(2)学校運営

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
目的等に沿った運営方針が策定されているか	4
事業計画に沿った運営方針が策定されているか	4
運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	4
人事、給与に関する制度は整備されているか	4
教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	4
業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	4
教育活動に関する情報公開が適切になされているか	4
情報システム化等による業務の効率化が図られているか	3

① 課題

業務の効率化を図ってはいるがより効果的な情報システム化が必要である。

② 今後の改善方策

デジタル教科書の導入や授業支援ツールの導入を検討している。

③ 特記事項

今年度授業支援ツール(ロイロノート)を試験的に使用予定

④ 学校関係者評価委員会コメント

(森 委員)

現場での効率化としてコストがかかることが多く気軽に運用が出来ない。システムに詳しいものばかりではなく高齢の職員も多くITC化が難しい。今年から2名体制でシステムエンジニアを採用した。システムがいかの判断や取捨選択をし、効率化していきたい。

(国場 委員)

業務効率化として情報管理課にてトラブル解決をしてくれる部署がある。切り替わりで変わったシステムでの不具合を情報管理課で行いってくれている。残業時間は基本的にしないよう部署内で取り組んでいる。文書管理などはフォーマットを使用して時間短縮をしている。

(3)教育活動

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	4
目標の設定として、教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	4
学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	4
キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	4
関連分野の企業・関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	4
関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技・実習等)が体系的に位置づけられているか	4
授業評価の実施・評価体制はあるか	4
職業に関する外部関係者からの評価を取り入れているか	4
成績評価・単位認定の基準は明確になっているか	4
資格(免許)取得の指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	4
人材育成目標に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保し、組織できているか	4
関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務含め)の提供先を確保するなどマネジメントが行われているか	3
関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	3
職員の能力開発のための研修等が行われているか	4

① 課題

業界との連携は引き続き強化していく必要がある。

指導力育成など資質向上のための研修は実施できているが、関連分野の先進的な知識・技術を修得するための研修は十分ではない。

② 今後の改善方策

実習や行事だけでなく授業においても関連分野の業界と連携できるよう計画を進める。

関連分野の先進的な知識・技術を修得するための研修の計画を進める。

③ 特記事項

なし

④ 学校関係者評価委員会コメント

(森 委員)

内部研修では、コロナ禍は対面研修が出来なかったが5月から対面に戻した。eラーニングも導入したが視聴タイミングや受講姿勢が見えにくい。1年目は接遇がやはり重要。

コロナ禍での動画のみの研修では特に接遇は体現しづらかった。対面の効果を感じる。

(国場 委員)

研修について、入社のにコロナが猛威を振るっておりeラーニング研修をメインで実施。現在は、等級に合わせて少人数でのマナー講習が年に数回ある。

(佐野 委員)

教職員の研修では多種多様な生徒に対して理解する研修を今後取り入れる予定。

(4)学修成果

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
就職率の向上が図られているか	4
資格(免許)取得率の向上が図られているか	4
退学率の低減が図られているか	2
卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	3
卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	3

① 課題

退学率の低減を図る必要がある。

卒業生の状況を把握しきれしていない。

② 今後の改善方策

複数担任制の促進と効果的運用を行うとともに、スクールカウンセラーを効果的に活用していく。

卒業生とのネットワークの構築を図る。

③ 特記事項

なし

④ 学校関係者評価委員会コメント

（国場 委員）

在学中のクラスの様子について、周りの子で退学を聞くことはあった。先生からのアプローチよりも友達同士で話をして気持ちが軽くなって続く子が多かった印象。周囲の友人関係で退学が防げらると思う。学校に来づらくなる子や退学したクラスメイトのほとんどが最初の人間関係でつまづいているように思う。スタートアッププログラムでの関わりがとても大事。

（佐野 委員）

退学防止対策として、不登校の学生に褒められる経験や成功体験を多く経験させ自信につなげるようにしている。登校のハードルを進路に合わせて苦手を克服する練習も必要。

(5) 学生支援

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
進路・就職に関する支援体制は整備されているか	4
学生相談に関する体制は整備されているか	3
学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか	4
学生の健康管理を担う組織体制はあるか	4
課外活動に対する支援体制は整備されているか	4
学生の生活環境への支援は行われているか	4
保護者と適切に連携しているか	4
卒業生への支援体制はあるか	3
中途退学者への支援体制はあるか	3
社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	4
高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	4

① 課題

クラス担任制で担任が主に生徒状況の把握を行っているが、生徒の多様化に対応し切れていないケースが多くなり、適切な相談対応が十分ではない。

卒業生への支援体制は一部構築しているが、十分に活用できていない。

中途退学者への支援を十分に行うことはできていない。

② 今後の改善方策

スクールカウンセラーの運用体制見直し(機会の拡張)と、連携の強化を図る。

卒業生支援体制の活性化を図る。

中途退学者へも再入学の可能性の説明などを行っていく。

③ 特記事項

なし

④ 学校関係者評価委員会コメント

(森 委員)

卒業生支援について、現場に学校の先生に是非来てもらいたい。現場としても悩み相談が出来る先があれば有難い。同期同士の繋がりが希薄な年もあるので、はけ口があれば良いと思う。

(国場 委員)

自身が新卒入社の際、算定の仕方が不安になるときがあった。先生とやりとりできる機会や連絡方法があれば欲しい。2年目に後輩が出来た時にしんどい時があったので5月や6月頃に友人にも会いたいと感じることがあった。

(6)教育環境

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	4
学内外の実習施設,インターンシップ,海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	4
防災・安全管理に対する体制は整備されているか	2

① 課題

コロナ禍で避難訓練が行えておらず、ハザードマップを使った説明で終わっている。

② 今後の改善方策

避難訓練の実施

③ 特記事項

緊急地震速報が発砲された際の行動案内ポスターを掲示している。

④ 学校関係者評価委員会コメント

（森 委員）

避難訓練は年 2 回実施している。搬送など効率的にできるように訓練をしている。消火訓練や通報訓練も同時に実施している。患者様もいる中での訓練になるので事前に周知してから実施している。高齢者が多く利用する病院であるため患者様の負担にならないよう配慮している。

(7)学生の受入れ募集

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学生募集活動は、適正に行われているか	4
学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	4
入学選考は、適性に行われているか	4
学納金は妥当なものとなっているか	4

① 課題

継続的、安定的な入学者の確保。

入学前後のギャップの解消。

② 今後の改善方策

教育活動と連動した広報活動を行うことで、学校のブランド力を強化していく。

高等学校の職業教育と連携した広報活動を行っていく。

③ 特記事項

兵庫県専修学校各種学校連合会に加盟し、同会で定められた生徒募集ルールに則り取り組んでいる。

⑤ 学校関係者評価委員会コメント

（国場 委員）

自身の高校時代の進路活動は A0 制度を使い入学した。最終の進路の決め手は就職率などを現実的に考えた。早く進路を決めることで残りの高校生活を充実することが出来た。高校の適職テストで医療事務が適職と判定が出たため、高校の進路ガイダンスで医療事務の専門学校の話聞きに行き学校を決めた。

（佐野 委員）

高校 3 年生の進路は、大学 2 割・専門学校 6 割・就職 2 割。やりたいことが見つからない子も多く、職業を体験できる場があれば良いと思う。専門学校に入ってからのギャップも多く聞くのでギャップをなくすような取り組みを実施している。A0 制度に関しては、業界ギャップが埋まっているようであれば問題ないと思う。

(8)財務

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	4
予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	4
財務について会計監査が適正に行われているか	4
財務情報公開の体制整備はできているか	4

① 課題

【中長期計画】

なし

【予算・収支計画】

なし

【会計監査】

なし

【財務情報の公開】

なし

② 今後の改善方法

【中期計画】

今期は第2次中期計画(2018年度～2022年度)の達成状況等の公開と同時に、第3次中期計画(2023年度～2027年度)を公開する予定である。

【財務情報の公開】

なし

③ 特記事項

なし

④ 学校関係者評価委員会コメント

特になし

(9)法令等の遵守

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
関係法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか	4
個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	4
自己評価の実施と問題点の改善に努めているか	4
自己評価結果を公開しているか	4

① 課題

個人情報の保護に努めてはいるが徹底という意味では十分ではない。

② 今後の改善方策

個人情報に対するパスワードの設定や郵送物への記録などを強化していく。

③ 特記事項

なし

④ 学校関係者評価委員会コメント

（森 委員）

機密事項の取り扱いについては回線の切り分け、ロックをかけている。個人情報の取り扱いについては一人ひとり意識を高めていく必要がある。外からの攻撃に対するセキュリティも考えいかないと行かない。

（国場 委員）

個人情報の取り扱いの際には十分気をつけるよう定期的にクリニック内にて周知はある。

(10)社会貢献・地域貢献

【評価項目】（評価＝適切:4、ほぼ適切:3、やや不適切:2、不適切:1）	評価
学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	3
生徒のボランティア活動を奨励、支援しているか	3
地域に対する公開講座・教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか	3

① 課題

コロナ禍も影響し地域貢献ができていない。
外部と関わるボランティアの機会を十分に提供できていない。

② 今後の改善方策

感染予防を徹底した地域支援を検討する。
ボランティア情報を集める仕組みを構築する。

③ 特記事項

なし

④ 学校関係者評価委員会コメント

（森 委員）

地域貢献の場がここ数年出来ていなかった。今年度から再開予定。学校ともコラボして何か地域イベントもしていきたい。

（国場 委員）

地域連携について、コロナ前はクリスマスコンサートなどしており、健康講座は昨年から再開した。患者様と触れあっていく際に世間話などを話したい患者様が多く感じる。患者様のお話を聞く場があればお互いいいと思う。実習以外で患者様と関わる事がなかったのでもいい機会になる。専門学校でボランティア部などの活動環境があれば友達ができるきっかけにもなると思うので、あって欲しいと感じていた。

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

解答の無い対応が多く求められる現代の医療従事者において、新人にも即戦力として対応力が求められる。これらを踏まえ、知識・技術の修得だけでなく様々な状況に対応できるための考える力・行動できる力を養う必要性が高まっている。求められる力を育成するため、多様なケースワークやプレゼンテーションの機会が重要に感じられる。

また、卒業生が少しずつ多くなっていく中、卒業した生徒たちが長く現場で活躍できる環境を作っていくことが大切である。そのような中、同窓会の実施などで就職先がフォローしきれていない卒業生に対し、学校がサポートできる取り組みは非常に良いと思う。今後も各医療機関を含む地域との関係性を密にとれている学校となることを期待している。